

環境活動レポート

宝産業株式会社

《ご挨拶》

当社、宝産業株式会社は昭和36年3月創業以来、軽石の採掘販売を経て、現在の主力商品である「培養土」のメーカーとして歩んで参りました。

私たちの経営理念は「お客様本位の研究開発を推進し、地球環境に配慮した、安全で専門性の高い製品とサービスを提供することにより社会に広く貢献し、全社員の幸せを目指す」です。これを永続的に実現していく為にはこの「エコアクション21」の取り組みが必要不可欠であると考えております。

当社の基本方針の一つである「常に改革意識を持ち、創意工夫をこらす」これを実践しながら、全社一丸となって環境目標に挑み続けていきたいと思っております。

ご高覧の上、ご指導を賜りながら、また次の私たちの環境活動に生かしていければと存じます。

宝産業株式会社
代表取締役社長
三浦 武史

《目次》

1. 環境方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境目標とその実績	P-4
5. 環境活動の取組計画と評価	P-5・6
6. 環境関連法規制の遵守	P-7

1. 環境方針

〔基本理念〕

当社は現在の主力商品である「山砂・火山砂利」「農業・園芸用土」「焼成砂」の開発・製造・販売活動に於いて、環境負荷の低減を実現する為、最大限の努力をすることを宣言し、自然環境と共生していけるものづくりを目指します。

〔行動指針〕

- 1) 当社独自の環境マネジメントシステムを構築し、それを継続的に運用します。
そして、その運用状況を定期的に評価し、常により適切なものに改善・進化させます。
- 2) 環境活動に関連する法規制と当社が同意できるその他要求事項等を遵守します。
- 3) 環境活動に関する目的と目標を定め、全社員に周知し、その達成に向けて厳格に行動します。
- 4) 環境方針はホームページ上で公表し、社外の方々に向け開示します。

〔主な具体的行動〕

- 1) エネルギー(LPG、ガソリン、軽油、灯油、電気)の使用量を削減します。
(二酸化炭素排出量を削減)
- 2) 事業活動で排出される廃棄物を削減し、適正管理を行い、更にリサイクル促進も積極的に行います。
- 3) 水は有効に利用し、節水活動に努め、使用量を削減します。
- 4) 工場排気の監視を行い、大気汚染防止法に基づく排出基準を順守します。
- 5) 備品、消耗品等についてグリーン購入を推進します。
- 6) 場内外の美化活動を推進します。
- 7) 環境性能を高めた自社製品の提供に努め、更に環境の変化に対応出来る自社製品の開発を推進します。

2018年9月21日
宝産業株式会社
代表取締役社長 三浦 武史

2. 事業活動の概要

1. 事業所及び代表者名

宝産業 株式会社
代表取締役社長 三浦 武史

2. 所在地

〒370-3607 群馬県北群馬郡吉岡町小倉827-119

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 三浦 武史
環境管理責任者 : 品質管理GL 石田 晃一
担当 : 同上
TEL : 0279-54-7777
FAX : 0279-54-9663

4. 対象範囲

宝産業株式会社 全組織・全活動

5. レポートの対象期間

2022年1月～12月(12ヶ月)の活動の取組みを評価しております。

6. 事業の内容

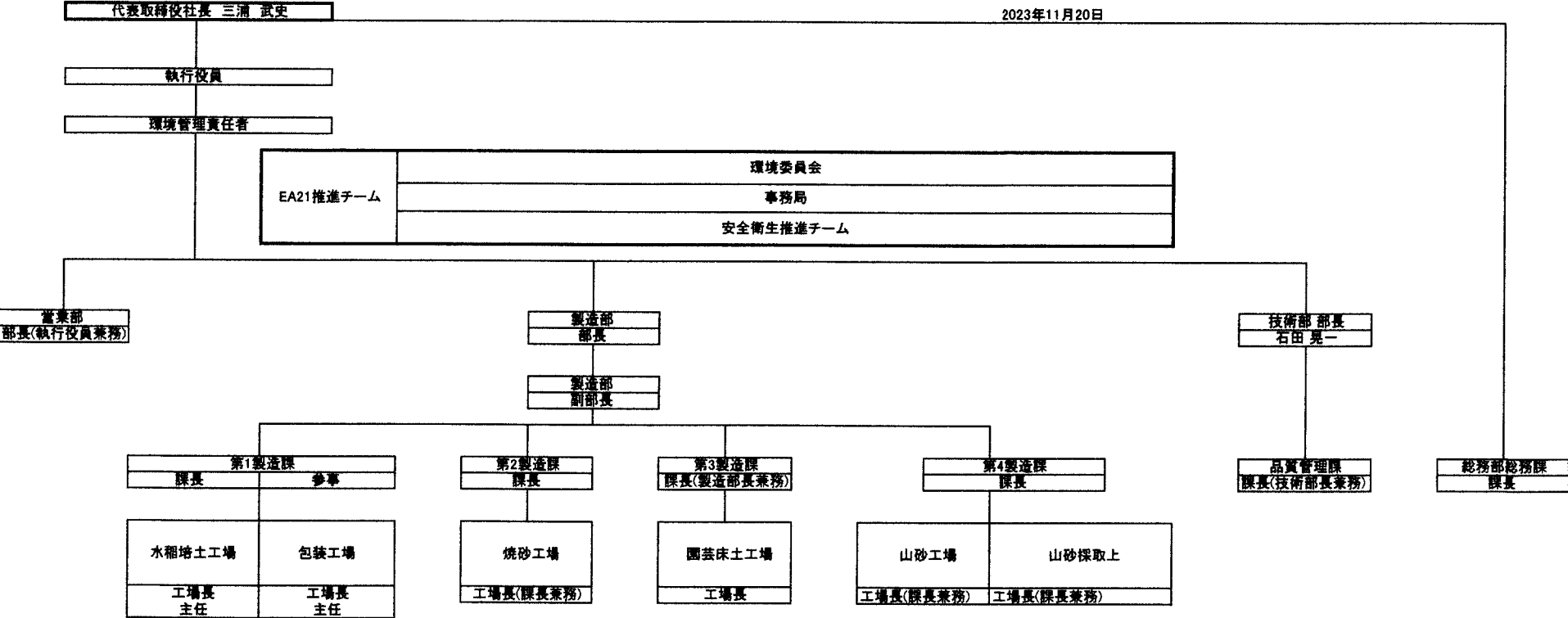
水稻育苗培土の製造、園芸用土・アクアリウム用土の製造販売、山砂・火山砂利の採掘販売

7. 事業規模

活動規模	単位	2020年 (60期)	2021年 (61期)	2022年 (62期)
主要製品生産量	t	82,249	95,502	81,007
従業員数	人	26	26	26
延べ床面積	m ²	61,602	61,602	61,602

3. EA21管理推進体制図

承認	作成
三浦	石田



環境管理責任者	①エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。 ②EA21文章類の作成をする。 ③EA21推進チームのリーダーとしてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する。 ④環境法令の遵守状況の確認を行う。	安全衛生推進チーム	安全衛生教育の企画運営を行う。例えば、安全衛生を推進する為に資料を作成・掲示したり、外部講師による講習会の開催等を行う。
環境委員会	環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。	全従業員	①環境方針及び環境目標を十分に理解する。 ②他部署と連携しながら環境目標を達成できるよう努める。
事務局	年に1回、環境への負荷の自己チェックを行う。		
部門長	①自部の環境活動計画の達成と実績の把握を行う。 ②環境方針や環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する。 ③自部門に関連する法規制等を遵守するよう指導する。		

4. 環境目標とその実績

当社に於ける61期(2021年1月1日～2021年12月31日)環境負荷実績を把握し、62期～64期迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

1. 主要な環境目標と環境負荷・実績

環境目標	基準値	今年度目標		2年後の目標	3年後の目標	環境活動計画 実施事項
	61期 (2021年)	62期		63期	64期	
	実績	目標	実績	目標	目標	
①単位生産量当たり二酸化炭素排出量の削減(kg/t)	27.5	2021年実績に対して1%削減	35.6	2021年実績に対して3%削減	2021年実績に対して5%削減	①重機の省エネ運転 ②製品の水分の適正管理 ③暖房やエアコンの使用を控える。 ④原料の適正な調整 ⑤生産計画の精度向上 ⑥工場での故障やトラブルの低減
②単位生産量当たり水使用量の削減(m ³ /t)	0.0139	2021年実績以下	0.019	2021年実績以下	2021年実績以下	工場等で節水を心がける。
③ロータリキルンの熱効率の維持	適切な空気比の維持	適切な空気比の維持	×	基準年と同様	基準年と同様	空気比を適正に管理する(水稻培土工場、焼砂工場)
④産業廃棄物排出量の削減(kg/t)	0.443	2021年実績以下	0.467	2021年実績以下	2021年実績以下	①コンベア等の生産器具の摩耗防止 ②破袋やシール不良の防止 ③品質不良の防止 ④破損した生産器具の再利用
⑤一般廃棄物排出量の削減(g/t)	19.4	2021年実績以下	5.9	2021年実績以下	2021年実績以下	①紙類の再利用 ②紙ごみの分別回収とリサイクル化
⑥大気汚染防止法に基づく工場排気の監視と遵守	定期検査の実施及び基準の遵守	定期検査の実施及び基準の遵守	○	基準年と同様	基準年と同様	①検査機関による検査(年二回)の実施 ②基準の遵守
⑦グリーン購入の促進	グリーン購入法適合品の購入	グリーン購入法適合品の購入	○	基準年と同様	基準年と同様	適合品目の購入を心掛ける。
⑧場内外の美化活動等の推進	場内外の除草作業	場内外の除草作業	○	基準年と同様	基準年と同様	適合品目の購入を心掛ける。

*購入電力(関西電力)の排出係数は、0.00を使用しています。

*62期 2022年1月～12月(12ヶ月)の活動の取組みを評価をしております。

*二酸化炭素の総排出量は2877475kg-CO2です。

5. 環境活動計画の取組みと評価

*62期 2022年1月～12月(12ヶ月)の活動の取組みを評価しております。

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価	
1. 二酸化炭素排出量(原単位)の削減 『目標』 2021年実績に対し、1%削減 目標の達成状況：29.4%増	×	2021年実績に対して29.4%増加し、目標(1%削減)を達成することができなかった。29.4%増加(原単位)の内訳は、LPG95.1%、軽油3.1%、灯油が1.1%で大半がLPGの寄与による。また、排出量ベースでは灯油、LPG、ガソリンがそれぞれ48.8%、10.7%、8.4%増加した。一方で軽油は5.6%減少した。 大幅な増加の要因は二つあると思われる。一つ目は山砂と火山砂利の生産量の減少である。山砂と火山砂利は比重が大きく、また生産に際して消費するエネルギーは電気(排出係数0)のみである。そのため、その減少に伴い総生産量が約95500tから約81000tに減少することで、原単位の分母が分子に対して相対的に減少し、二酸化炭素排出量が増加したと考えられる。 二つ目は水稻培土工場における空気比の上昇である。2022年の4月頃より空気比が悪化し始め、それまで2.0付近で推移していた空気比が、概ね2.6～4.0まで上昇した。そのためキルンの熱効率が低下し、LPGの使用量が増加した。それが二酸化炭素排出量の増加につながったと考えられる。その原因は吸気ダンパーの故障による吸気のしすぎであるが、12月にダンパーを修理する予定なので、その後は空気比を適正に調節できるようになる。 次年度への取組内容 生産性の維持と空気比の管理をメインに取り組む。
2. 水使用量(原単位)の削減 『目標』 2021年実績以下 目標の達成状況：38.3%増	×	2022年の8月より、製品の原料であるビートモスを低含水率のカナダ産のビートモスから高含水率のバルト三国産ビートモスに変更した。通常、製品の水分を規格の範囲に調整するために加水するが、含水率が高いほど加水量が少なくなり、水の使用量が減ることになる。そのため、2022年の水使用量は前年比で19.2%減少した。しかし、二酸化炭素排出量で述べた理由と同様に山砂と焼砂の生産(水不使用)が大きく減少したため、原単位で38.3%の増加となった。 次年度への取組内容 水の再利用を中心に今期と同様の取り組みを継続していく。
3. 本業に関する目標 『目標』 適切な空気比の維持 目標の達成状況：	×	1. 水稻培土工場 暫定基準を超過している。【二酸化炭素排出量の削減】の項で述べたとおり、吸気ダンパーの故障により吸気量を調節できないことが原因である。吸気ダンパーの修理を予定している。 2. 焼砂工場 概ね暫定基準を満たしている。今後はオリフィス流量計を導入し、さらに空気比を改善していく予定である。 次年度への取組内容 キルン内の空気比を定期的に測定し、適正な範囲に収まるよう努める。
4. 産業廃棄物排出量(原単位)の削減 『目標』 2021年実績以下 目標の達成状況：5.4%増	×	2021年実績に対して5.4%増加し、目標を達成することができなかった。原因は、廃プラが前年から6705t増加(増加量の98.5%を占める)したこと、そして山砂と碎石(廃プラを発生しない)の生産量が減少したことである。前者については、リサイクルしていたフレコンが古くなったため、一斉に処分したことによる。 次年度への取組内容 製品不良による製品の解袋防止、検査で使用するイオン交換水(廃酸の元)や廃油等を減らす。
5. 一般廃棄物排出量(原単位)の削減 『目標』 2021年実績以下 目標の達成状況：69.6%減	○	2021年実績に対して69.6%減少し、目標を達成した。その要因は段ボールが1040kgから150kgに大幅に減少したことによる。その他、家庭用可燃は240kgから80kgに減少し、新聞紙は113kgから151kgに増加した。 次年度への取組内容 ①休憩室で紙類を分別し、リサイクルに回す。 ②個人ゴミは持ち帰る。 ③必要でないDMやカタログ等は受け取らない。 ④出来るだけ紙類を電子化する。 ⑤段ボールを納入業者に引き取ってもらう。
6. 大気汚染防止法の遵守 『目標』 工場排気の監視と遵守 目標の達成状況：	○	検査機関によるばい煙検査を漏れなく定期的実施している。 ばいじん、SOX、NOXは基準値内に入り問題はない。 次年度への取組内容 引き続き工場排気を監視し、基準値を継続的に遵守できるようにする。
7. グリーン購入法の促進 『目標』 適合品の購入を心がける。 目標の達成状況：	○	適合品のカタログから購入するよう心掛けている。 次年度への取組内容 ガイドライン改正に伴い、グリーン購入法の促進を目標に入れるべきことが義務付けられた。その点を踏まえ、適合品の購入をより一層推進していく。

※適切な空気比の維持：暫定基準 ①水稻培土2.3以下(水稻培土工場) ②2.4以下(焼砂工場)

6. 環境活動計画の取組みと評価

(代表者による全体評価と見直しの結果)

新たに設定した環境目標の初年度でしたがCO₂/水/産業廃棄物の3項目で目標未達であった事は大変、残念です。当社の営業品目の中で山砂・火山砂利の生産量は工事案件の大型受注等の有無でその数字の変動が最も大きくなってしまいました。CO₂増の寄与率が最も高いのはLPG消費である事も考慮した上で、原単位計算における分母(生産数量)を安定させる新たな方法を検討する様、指示しました。

生産活動での水の使用量の削減については製品の性能に直結する要素が大きく、ハードルが高いと感じる。僅かではあるかもしれないが夏場の散水のやり方等の検討を指示した。

廃棄物減量については取り組み内容(行動指針)を継続して行う事で同意した。備品・消耗品のインターネット購入による段ボールの増量を懸念したが影響は無かった。

空気比不適合がどの程度、コストを押し上げているかを知り、それが空気比改善の管理装置導入コストに見合うかを確認した上で、設置を進めたい。

園芸培土工場の生産数量増大に伴い、2023年に新型機種のフォークリフトを1台増車する。燃費性能と生産性の向上が実現出来る。

環境配慮型商品の開発についてはバイオスティミュラント製品の活用について検討継続中です。

環境方針・環境目標・環境活動計画・環境経営システムについては新しい2024年までの3ヵ年計画を立て、社員に周知したところです。変更はしません。

2023年に「カーボンオフセットfuel」の試験購入を実施する。軽油1車分を受け入れる。CO₂削減量に応じて3つのラインナップが有り、経済性を考慮しながら、いずれかを選定する。

全社員が会社の環境活動に貢献してくれていると感じています。次年度も継続的且つ安定した環境負荷低減の為に様々な方策を皆で実践していきたいと考えています。

7. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	規制内容	遵守状況
大気汚染防止法	以下の基準値の遵守等 ダスト濃度0.2g/m ³ _N 硫黄酸化物2.3m ³ _N /h 窒素酸化物230cm ³ /m ³ _N	遵法
公害防止組織法	公害防止管理者(大気)及び 公害防止統括者を選任し、 組織的に公害の防止に取り組む。	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	①廃棄物の適正処理 ②マニフェストの発行及び保存 ③マニフェストに関する報告書の提出等	遵法
高圧ガス保安法	①保安教育の実施 ②帳簿の記載及び保存等	遵法
消防法	指定数量以上の軽油タンク 及びパレットの届け出及	遵法
浄化槽法	年1回の法定検査の実施	遵法
騒音規制法	第2種区域の規制値の遵守	遵法
振動規制法	第1種区域の規制値の遵守	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023年1月31日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。